

いま、福島へ 会津・喜多方・裏磐梯を奥深く探る旅

1日目 歴史を感じる会津

藩校「日新館」・「鶴ヶ城」・「御楽園」・「さざえ堂」

町民達が作った日本で最初の教育場「稽古堂」を母体とし、白虎隊が学んだ事でも知られるのが会津藩校「日新館」、難攻不落の名城とうたわれた「鶴ヶ城」、大名型山水庭園でありながら後に各種薬草を栽培する薬草園が設けられ、往時の姿をとどめているのが「御楽園」です。また、会津には仏教としての一面もありますがその中でも「さざえ堂」は西国三十三観音を巡拝

するための階段が螺旋構造になっており、昇りのスロープの天井が降りのスロープの床になっているとても珍しい建築物です。この様々な顔を持つ会津を「会津古城研究会 会長 石田明夫」氏にご案内して頂きます。お夕食は築100年の古民家を移築、再現した「志ぐれ亭」で地元の食材を主役にしたふるさと懐き料理を頂きます。



会津についての見識が深い石田明夫氏

2日目 喜多方 非公開の蔵をめぐる

「とっておきの蔵めぐり」

喜多方市には日本の風情を今に残す重厚な蔵並が存在します。また、飯豊山の伏流水が醸し出す「酒・味噌・醤油」などの醸造業・桐細工や喜多方漆器・雄国竹細工などの伝統産業が発達した街です。今回、ガイドさんが案内してくれるのは「とっておきの蔵めぐり」。通常は非公開の蔵座敷や庭園を個人所有の蔵の内部を特別に見せていただきます。生活クラブの日本酒の生産者である大和川酒造の美しい蔵も訪ねます。



喜多方の蔵(若喜商店レンガ蔵)



大和川酒造 飯豊山の伏流水を仕込み水

会津電力の取り組み

原子力発電の暴走を許容した社会の責任を次世代に引き継がせない理念のもと、再生可能なエネルギーだけで賄う事を目的とし設立され、生活クラブ生協の組合員へも提供しています。この発電所を生産者である大和川酒造の会長であり、会津電力の社長である「佐藤 彌右衛門」氏に案内していただきます。



裏磐梯高原ホテルテラスから眺む景色



さざえ堂 外観



雄国発電所前に立つ 佐藤彌右衛門社長

裏磐梯高原ホテル

国立公園内に建ち、磐梯山と弥六沼を間近に望む大自然が感じられるホテルです。

3日目 裏磐梯のダイナミックな景色・湖沼群の風景

磐梯山のダイナミックな景観や有名な五色沼に代表される湖沼群は約5万年前の巨大噴火、より明治21年の火山活動によってなされた景観です。湖を見ながらゴールドラインを通り、現地のエコガイドさんの案内で景色のなぞ解きをしたと思います。

サルバドール・ダリコレクション 「諸橋近代美術館」

この地に思いをもって作られた、「諸橋近代美術館」はアジアで唯一、世界で第4位を誇るダリ常設美術館です。森にたたずむ古城のような建物に入った瞬間からダリのエネルギーを感じるつくりになっています。



諸橋近代美術館



「さざえ堂」は上りと下りが別々の三重らせん状の構造

旅行期間	2019年9月5日(木)～9月7日(土)
旅行代金	2名様1室利用 お一人様 107,000円 ※1人部屋希望につきましてはご相談ください。
募集人員	21名様(最少催行人員14名様)
宿泊ホテル	[1泊目] ガーデンホテル喜多方 [2泊目] 裏磐梯高原ホテル
1	8:48～8:56東京駅出発→JR東北新幹線→10:06～10:13郡山着→「日新館」→昼食→飯盛山「さざえ堂」・「鶴ヶ城」・「御楽園」→夕食「志ぐれ亭」→ホテルチェックイン 食事:朝○・昼○・夕○【ガーデンホテル喜多方(泊)】
2	ホテル出発→喜多方「とっておきの蔵めぐり」・「大和川酒造」蔵見学→昼食→雄国太陽光発電所見学→16:00ホテルチェックイン。お夕食は洋食の予定です 食事:朝○・昼○・夕○【裏磐梯高原ホテル(泊)】
3	ホテル出発→湖沼群見学→「諸橋近代美術館」鑑賞→「磐梯山ゴールドライン」ドライブ→昼食→17:15～17:30 郡山駅出発→JR東北新幹線→18:36～18:48 東京駅着 食事:朝○・昼食○・夕×

スケジュールは天候状況、現地事情により日程の一部が変更される場合があります

- 添乗員/同行します。
- 食事/朝食2回 昼食3回 夕食2回(食事は山菜・お蕎麦・魚介類・肉類が入る予定です)
- 交通機関/JR東北新幹線、貸切バス(予定運行会社/喜多方観光バス)